発行：東海農政局消費・安全部消費生活課（食育）
http://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/shokuiku/index.html

平成21年
9月号
第21号
毎月1日発行

とうかい食育推進だより

鮎の引っ掛け漁体験をしました！
津具森林組合・NPO法人とみやま交流センター（愛知県設楽町・豊根村）

伝統的な三河の山里の食文化を保全・継承し、都会の子どもと地元の子どもが体験を通じて楽しみながら生産者の苦労や喜び、食やや命の大切さなどを体感し、農業や食文化への理解を深め、食に対する感謝の気持ちを育むことを目的とする教育ファーム、津具森林組合・ＮＰＯ法人とみやま交流センターでは、平成21年８月16日（日）設楽町（旧津具村）内の大入川で、鮎の引っ掛け漁体験がありました。

今回は当団体の主宰する山里で学ぶ自然”「食」体験塾設楽スクールの第２１回目と２回目として開催されました。第６１回目（８月）は五平餅づくり体験と古いゴルフクラブを利用した鮎引っ掛け漁用竿作りを行い、今回はその竿を使って実際に鮎を捕まえるというものです。

体験場所は標高約７０ｍ、旧津具村の年間平均気温が１２０度という愛知県下の高冷地であり、美しい川や森林に包まれての自然体験場所として、また、大入川は、天竜川の源流ですが、当地区は豊川、矢作川の源流地域でもあり、川上、川下の交流拠点としてすばらしい環境と感じました。

さて、約30名の参加者は、大入川近くの村松津具森林組合長宅に集合し、加藤事務局長の食育クイズや村松組合長から鮎漁について説明を受けた後、早速水中メガネで鮎を追いながら引っ掛け漁に挑戦しました。

当日は、晴天に恵まれながらも、前日の降雨で増水して少し捕まえにくい状況でしたが、参加者の熱中ぶりには驚かされました。午前、午後の２回で40匹を捕まえることができました。

お昼は村松津具森林組合長宅に戻り、捕れたばかりの鮎を塩焼きにし皆でおいしく食べました。子供達は捕まえたばかりの鮎を串に刺し、塩を振って焼くなどの体験もでき、自然の恵みを体感することができました。

また、当地区でとれた完熟トマトや、地域の伝統食である鮎茶漬けに舌鼓をうち、盛夏の１日はとても充実したものとなりました。

（記事：東海農政局消費生活課）

夏ベジプロジェクト（夏の元気は野菜から！）

夏野菜はビタミンやミネラル、食物繊維、機能性成分が豊富に含まれており、暑い夏を元気に過ごすため欠かせない食材です。

農林水産省では、そんな野菜をおいしく、たくさん食べてもらうために「夏ベジプロジェクト」を立ち上げました。夏の食卓をいろどってもらうために、夏野菜のシーズン（７月から９月）を集中活動期間として、野菜の生産、流通、加工、消費に関係するさまざまな企業、団体や行政機関に呼びかけて、協力の輪を広げながら、夏野菜の消費拡大を図る取組を実施していきます。内容としては、FOOD ACTION NIPPON と連携しつつ、以下の取組を行います。

（1）統一ロゴマークの作成
（2）夏ベジソングの提供
（3）広報資材の提供
農林水産省のホームページ上で公開し、誰でもダウンロードして、広報ツールとして使用することができます。
（4）ホームページの開設
夏野菜の魅力、プロジェクトの取り組み、地域のイベント情報等を提供します。
（5）協力企業・団体の募集
本プロジェクトに協賛する企業を募り、広がりのある運動を推進します。

詳細は、http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/natuvege/index.html

2009年度地域に根ざした食育コンクールの応募を受付中！

現在の「食育」における健全な食生活・食習慣の確立、食文化の継承、教育ファーム等の農林漁業体験活動の促進、地産地消の推進など、地域に根ざした取組み等の課題をふまえて、民間の団体等が自発的に行う活動が全国で展開され、関係者の情報共有が促進されることを目的として実施されます。

さまざまな食育活動を、活動の目的別（３分野）に、ひろく全国から募集して、特にすぐれた実践事例を表彰いたします。

応募期間　７月１日～11月６日
授賞式　平成22年２月13日
応募先（社）農山漁村文化協会提携局内
地域に根ざした食育コンクール事務局
東京都港区赤坂7-6-1 TEL03-3585-1144
（http://nipponsyokuiku.net/concour/2009/gaiyo.html をご参照下さい）

東海農政局消費生活課（052-223-4651）にも応募書類が有ります。

未来の農業の姿（イラスト）募集！

農林水産省では全国の小中学生から未来の農業が豊かになる夢のあるアイデアを募集しています。

◇募集作品・自由な発想で夢のある未来の農業技術に関する絵やイラスト
◇応募〆切り・・平成21年９月30日（水）
◇応募先・・農林水産省大臣官房政策課技術調整室（東京都千代田区霞ヶ関１-２-１）
「絵のテーマ」
・こんな農作物、こんなロボットや機械があったらいいな。
・誰も考えつかない農業のやり方。

詳細は、http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/g_idea/

畦草刈りとスイカの収穫をしました！
稲作学校実行委員会（三重県伊勢市）

教育ファーム稲作学校実行委員会（大仲悟さん）では、長い梅雨が明け、真夏の太陽が照りつける中、8月8日（土）に畦草刈りとスイカの収穫をおこないました。

参加者の皆さんは、大汗を流しながらも、熱心に作業をしていました。

稲は、天候不順の影響から一週間程度遅れているということですが、いうことですが、いまずまず順調に生育しているそうです。今後の天候次第ですが、今月末には稲刈りが出来るだろうということです。

また、稲作学校で栽培している米は、農薬を使用していないということで、収穫した稲穂を伊勢神宮に奉納することも検討されています。より一層収穫にも熱が入るのではないでしょうか。

スイカの収穫は、6月に鳥獣害防除ネットを張ったおかげで、カラスに食べられることもなく、沢山収穫することができました。収穫した後の畑の除草作業やマルチの撤去も併せておこなわれました。

参加者の一人は、自分たちで育て収穫したスイカの汚れを一つ一つ丁寧に洗い落としていました。

子供たちは、参加者のはからいでスイカ割りをして、大人もみんなで頂きました（筆者も頂きました）。甘くておいしかったです。

休憩時には冷やしたスイカを後は、稲の収穫を待つばかりです。

（記事：三重農政事務所消費生活課）

◆◆9月の食育イベント◆◆

○東海農政局消費生活課では、食事バランスガイドに関する講義と調理体験をおこなう親子食育講座を開催します。

1 日時　平成21年9月26日（土）（10:30～15:00）

2 場所　愛知文教女子短期大学（愛知県稲沢市稲葉2丁目9番17号）

3 募集　親子30組（保護者1人と6～9才の子供2人以内、予約制）子育て世代を対象に講義・調理実習等をおこなう。

4 内容

【大人の部】
（1）食事バランスガイドを活用した食生活について（講義）
（2）バランスランチ～野菜をおいしく食べましょう～（調理実習）
講師：愛知文教女子短期大学　安藤京子教授

【子どもの部】
（1）牛乳、果物を使用したデザート作り
講師：愛知文教女子短期大学　有尾正子准教授
（2）めざせ！たべもの博士（体験・学習）

【会食】
（1）親子そろって会食
（2）食品ロスについて～エコエコ家計簿のご提案～

5 主催　農林水産省東海農政局
協力　愛知文教女子短期大学
その他　食材費：大人600円、子ども400円、事前に申し込みが必要（9月7日受付開始）先着順とし、定員になり次第締切。持ち物：エプロン、バンダナ

【お問い合わせ先】
東海農政局消費生活課　担当：笹本、上野
電話（代表）052-201-7271（内線2814）052-223-4651（直通）
（FAX）052-220-1362

○愛知県では、県の食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン」（平成18年11月作成）を推進し、食育を県民運動として定着させるため、県民の皆さん、食育推進関係団体、食育推進ボランティア及び市町村などの関係者を対象に食育推進シンポジウムを下記のとおり開催しますので、参加者を募集します。

1 日時：平成21年10月15日（木）午後1時から午後4時まで（正午開場）

2 場所：アイプラザ豊橋（愛知県豊橋勤労福祉会館）
豊橋市草間町字東山143-の3

3 主催：愛知県食育推進会議、愛知県、愛知県教育委員会

4 内容：
（1）小学生食育啓発ポスターコンクール表彰式
（2）食育対談
テーマ「食育で子どもの体を育て、心を育む」
講師　名古屋短期大学保育科小川雄二教授、俳優　天野鎮雄さん
（3）食育の歌「おいしい音だね」・踊り
学校法人曙学園　あけぼの幼稚園（5歳園児）
（4）パネルディスカッション
テーマ「食を通じて環境に優しい暮らしを築く」
コーディネーター　中日新聞編集局生活部　間野丈夫部長
パネリスト
・田原市立赤羽根小学校　伊與田敬子栄養教諭
・ユニー株式会社環境社会貢献部　百瀬則子部長
・豊橋農業協同組合生活開発部　ファーマーズマーケット特命　伊藤友之部長
・愛知消費者協会東三河支部グループ　渡辺　ちぐさ理事
（5）啓発展示
・小学生食育啓発ポスターコンクール応募作品展示
・パネルを展示（各団体の食育活動の紹介パネルをホール入り口に展示）

5 募集人数　400人（先着順）
（参加予定人数　約800人：募集人数400人）を始め、教育、保育、社会、福祉、医療・保健、農林水産業、食品関連事業、消費者、食育推進ボランティア、市町村など食育関係者が参加）

6 参加費　無料

7 申込方法　平成21年9月25日（金）（必着）までに、1住所、2氏名、3電話番号、4参加人数※をご記入の上、往復はがき、またはメール（携帯電話メールは不可）で申し込みください。
※なお、託児は、予約が必要となりますので、電話で問い合わせください。
参加者には、9月30日（水）までに、参加証を送付します。
申し込みは、1回につき5名まで申し込み可能です。2名以上申し込みの場合、代表者を明記し、住所、氏名、電話番号は代表者のものを記入してください。

8 申し込み・問い合せ先
愛知県農林水産部食育推進課食育推進グループ
〒460-8501（住所記載不要）
電話　052-954-6396（ダイヤルイン）
食育ネットあいち　ホームページ
http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/
電子メール
shokuiku@pref.aichi.lg.jp

東海地域の食育イベント等情報

当欄への掲載は、農政事務所・地域課、東海農政局消費生活課（食育推進班）まで
052-223-4651（消費生活課ダイヤルイン）